

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

552-302

事務事業名	上下水道料金賦課徴収事務				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
						70	3	1	4		99	47,910
部等名	水道環境部	課等名	水道業務課		包含する細々目							
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	45 居住基盤の向上											
実施区分	継続	会計	水道事業	環境調整会議	関連計画 条例等	上下水道料金等徴収業務民間委託事業						
		事業期間		年度 ~		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	上下水道の利用者	利用者数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			43914	44500			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	上下水道料金の適正な賦課と確実な徴収を図る。	徴収率	18目標	98	最終目標	99	
			18実績		19目標		↑
		賦課誤り件数	23目標	99	23実績	99	最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	使用水量の検針から納入通知書の発行(口座振替依頼)、収納に至るまでの事務処理を正確にまた効率的に行う。料金の未納者を極力減らすよう滞納整理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 検針 届出受付 調定 納入通知(口座振替依頼) 滞納整理 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 調定件数 督促件数 滞納者数 	
	18年度の実績			
	19年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 検針 届出受付 調定 納入通知(口座振替依頼) 滞納整理 		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	50,000	47,910
一般財源			
事業費計(A)	50,000	47,910	
人件費	正規職員所要時間	18年度 13,000	19年度 13,000
	臨時職員等所要時間	1,925	3,850
	人件費計(B)	48,557	50,627
	トータルコストA+B	98,557	98,537

特定財源内訳や補足事項	財源のその他は水道料金
-------------	-------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	上下水道事業の根幹を成す料金の適正な徴収をすることにより、上下水道事業の健全な運営を目指す。	未納率(%)	現状値	2	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	使用者の満足度(料金やサービスに対する苦情)		現状値	6	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 昭和3年の飯田町上水道完成から	事業を取り巻く状況の変化 人口減少や節水により有収水量は伸び悩んでいる。	事業に対する市民や議会の意見 料金はできるだけ上げずにサービスの向上をとの声がある。
----------------------------------	---	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 適正な料金徴収は、必ず上下水道事業の健全な運営に結びつく。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 適正な賦課、確実な料金徴収が行えれば成果は必ず向上する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 使用者のみが対象である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 料金の収納が行えなくなる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) この意図以外は考えられない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 上下水道事業は市営であるので当然にして必要がある。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 可能 (その理由) 業務委託によりコストの削減につながるよう計画中。
		公平性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は誰ですか？ また、負担の是非、程度は妥当ですか？ 上下水道事業者が受益者であり、料金の負担の程度については、数年おきに見直している。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 19年度は現状の中で事務の効率性を上げ、20年度に業務委託実施。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	業務委託実施の際の業者選定が困難と予想される。 克服方法 委託の仕様をしっかりと固め、プロポーザルにおける業者選定基準を確立しておく。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	